

# 道 芝



みちしば

第63号

令和元年8月15日

水戸市青少年育成推進会議

会長 加倉井 喜正

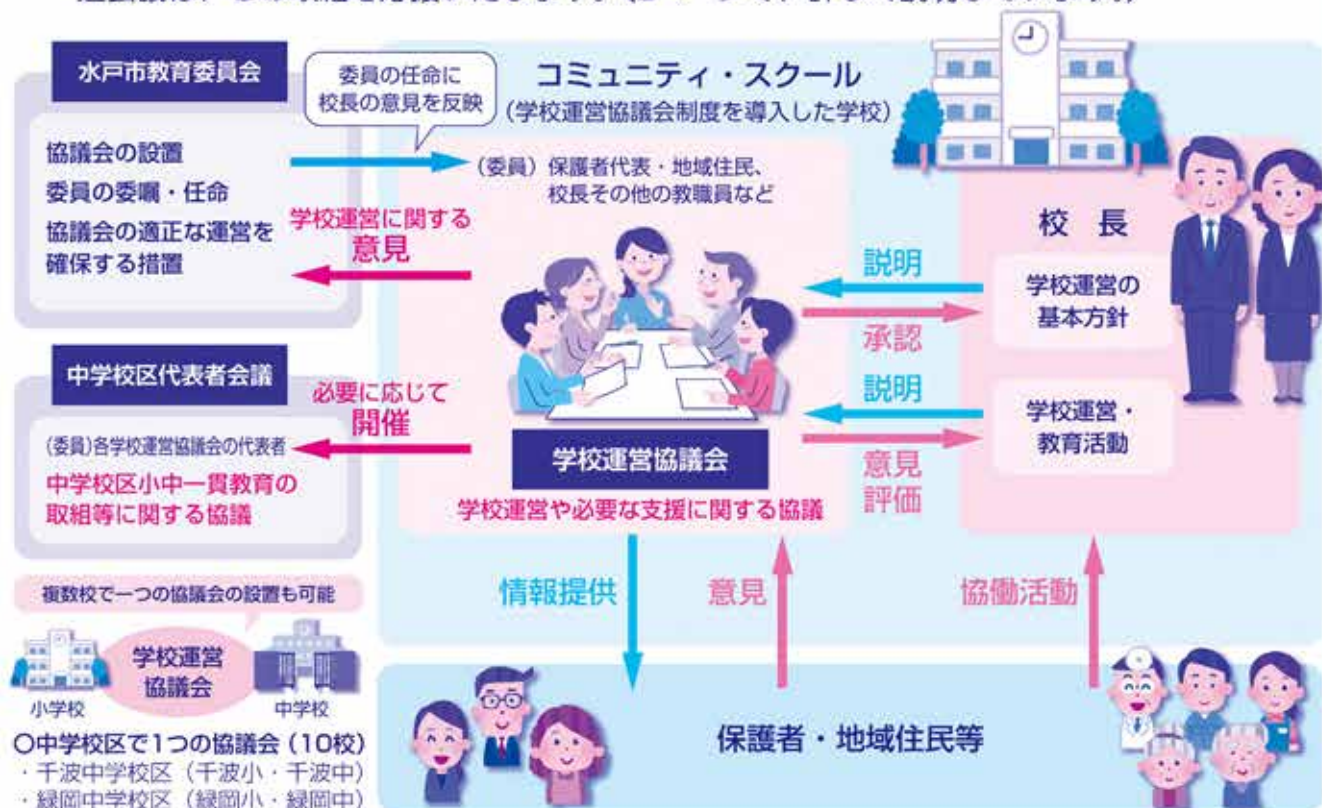
水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課内

水戸市中央1-4-1 ☎029-306-8692

「踏まれても根強く耐え、そっと腰をおろせばやさしく憩わせてくれ、子どもたちを伸び伸びと遊ばせてくれる道芝」

## “コミュニティ・スクール” 学校運営協議会制度始まる

水戸市では、これまでも学校と地域が連携・協力しながら「開かれた学校づくり」を推進してきましたが、2019年4月からは、これまでの取組をさらに進め、「地域とともにある学校づくり」を目指し、全ての市立小・中・義務教育学校で「コミュニティ・スクール」を導入しました。「コミュニティ・スクール」は、学校や保護者、地域の皆さんからなる「学校運営協議会」を設置した学校のことです。学校運営や学校の課題に対し、広く保護者や地域の皆さんが参画できる仕組みであり、水戸市青少年育成推進会議は、この取組を応援いたします。(2ページで、詳しく説明しています。)



- 中学校区で1つの協議会(10校)
- ・千波中学校区(千波小・千波中)
  - ・緑岡中学校区(緑岡小・緑岡中)
  - ・飯富中学校区(飯富小・飯富中)
  - ・石川中学校区(石川小・石川中)
  - ・双葉台中学校区(双葉台小・双葉台中)
- 上記以外的小・中・義務教育学校(38校)は、単独で協議会を設置しています。

### <学校運営協議会の主な役割>

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる事ができる

# 「地域とともにある学校づくり」を目指して コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)全校導入

## 連携・協働

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、**学校と地域の連携・協働**の重要性が指摘されています。

## 社会総掛かり

子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、**社会総掛かりでの教育の実現**が不可欠です。

## 共有

輝く子どもたちの未来の創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくためには、学校と地域住民等が「地域でどのような子どもたちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という**目標やビジョンを共有することが重要**です。

## 地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「**地域とともにある学校づくり**」への転換を図るための有効な仕組みです。

コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

文部科学省 コミュニティ・スクール2018 引附

### 〈今まで〉

#### 学校評議員

- 校長の求めに応じて、個人としての立場で学校運営に対して意見する。  
※合議体ではない。
- 学校運営に関する直接の関与はない。

#### 学校関係者評価委員

- 教育活動の観察等を通して学校の教職員が行う自己評価について評価する。



「地域に開かれた  
学校」から  
「地域とともに  
ある学校」へ

### 〈これから〉

#### 学校運営協議会

- 学校の課題や目標を共有した上で、合議体を形成し、学校運営に参画する。  
※合議体…複数の委員の合議によってその意思を決定する組織体
- 計画段階から参画し、評価や改善まで、委員が当事者意識をもって協議する。

初めての茶道体験



七輪での火おこし

また、常磐地区高齢者クラブと連携を図り、学年に応じて昔遊び、昔の道具体験、歴史伝承教室などを実施しています。常磐地区ふれあいでのんの会との連携では、生活委員会の5・6年児童が、地域に住む一人暮らしの高齢者へ電話をする活動を行っています。この活動をを通して、児童は、長年、この常磐地区を支えてきた方々への感謝の気持ちや目上の方への話し方、言葉遣いなどを学ぶ機会となっています。

地域との交流紹介(常磐小学校)  
体験的な教育活動を充実させるために、常磐小学校では地域の多くの方々にご協力をいただいています。  
「本杉ふれあいのつどい」では、昨年度、常磐市民センターで開設している講座や高齢者クラブ、水戸生涯学習センターなどの協力を得て、将棋、茶道、オカリナ、コーラス、太極拳などの講座を行い、児童は体験を通して、地域の方々と交流を深めることができました。

# 第34回水戸市少年の主張大会

令和元年7月14日(日)

ザ・ヒロサワ・シティ会館

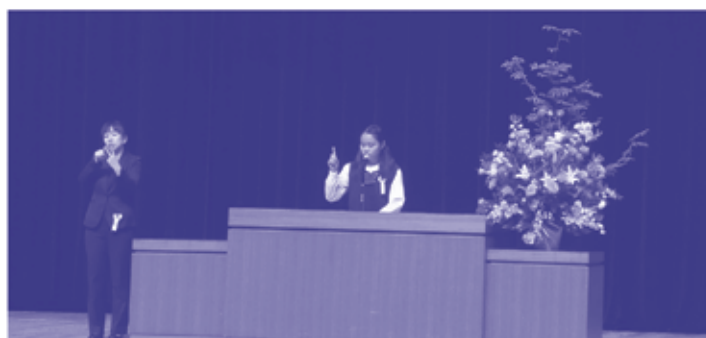


水戸市少年の主張大会は、中学生が日頃考えていることや意見を主張することで、社会に対する関心を高め将来に向けての展望を抱くとともに、同世代や大人がその主張を聞くことにより共に考える機会として開催されています。本年は水戸市施行百三十周年記念事業の一環として実施されました。開会式では、高橋靖水戸市長より、普段何気なく思っていることを論理的に表現し発表することの体験を、今後の生活に生かして欲しい、との激励の言葉をいただきました。続いて加倉井喜正水戸市青少年育成推進会議会長、来賓を代表して黒木勇水戸市議会副議長よりご挨拶をいただきました。今年は一九四〇点もの応募があり二十人が優秀賞を受賞しました。その内の十九人が大ホールの壇上で自らのテーマを基に今後何をすべきかを未来に向けて考え続けていきたい、と自分の言葉で問題提起と意見主張を約五分間発

## 「優秀賞」(応募総数 2,940点)

学校名	氏名	学年	タイトル
第一中	井上 巧基	1	僕のミッション～水戸の自然を守る～
第二中	大内 喜介	3	兄の足と僕の夢
緑岡中	金 美妍	3	文化の違いを理解する事
第四中	稲田 遥輝	1	プラスチックゴミから地球を守ろう
飯富中	蓮田 朱里	3	助け合うとは
赤塚中	鈴木 悠真	2	簡単なことでも...
第五中	桐原 可奈	3	ボランティア活動
見川中	太田 涼風	2	後継者問題から考えたこと
双葉台中	永井 百佳	2	今、思うこと
笠原中	雨澤 萌々	1	魅力ある街とは
石川中	北村 奈央	1	「かわいそう」
千波中	高橋 伶奈	2	少子高齢化と日本
常澄中	大場 優衣	1	襟を胸に
内原中	根本 怜	1	いじめを起ささないために
国田義務教育学校	戸崎 千尋	7	ありがとう
茨城大学教育学部附属中	貝嶋 咲香	1	借楽園の有料化と水戸の街づくり
茨城中	黒羽 茉奈	3	一型糖尿病は私の個性
茨城朝鮮初中高級学校中級部	朴 悠衣	1	ろう学校とのつながりで学んだこと
水戸英宏中	米田 莉菜	1	将来の水戸の街づくり
智学館中等教育学校	山崎 啓介	3	本物の友情

表しました。国際色もあり、世相を反映した多岐に亘る主張が繰り広げられ、それぞれの課題に考えさせられた瞬間の三時間でした。発表後に水戸市総合教育研究所指導主事の植松陽子先生より、主張とは信頼性の高い情報を根拠として自分の考えを伝えること、本日の各主張から投げかけられた問いに対して各々で議論し新たな主張が生まれてくることに期待する、との講評をいただき閉会となりました。



「平和を考える集い」  
少年の主張大会終了後に、公益財団法人広島平和文化センターの被爆体験証言者の末岡昇氏による平和講演が行なわれました。  
末岡氏より、唯一の被爆国である日本の子ども達に、継続して語り継いでいく必要性をお話いただきました。



# 会長・各部長あいさつ

みんなで育てよう青少年・若者

会長 加倉井喜正



平成から令和と元号が改まり新しい時代を迎え、5月11日本推進会議の定期総会を開催致しました。

そして、活動基本方針・重点目標及び予算等についてご承認をいただき、今年度の青少年育成活動を展開することとなりました。

近年、児童虐待・いじめ・不登校など青少年が関わる事件が、根強く社会問題となっている現況の中、本推進会議としてどのように取り組むべきか大変むずかしい時代となりました。特に、価値観や生活様式の多様化に伴い家庭・学校・地域そして行政との連携強化や青少年の社会参加活動の推進など具体的にどのような展開していくか大きな課題です。

青少年のふれあいを深め、具体的な活動を推進し、青少年・若者を加害者や被害者にさせない為、大人の我々が何をすべきか考えてみようではありませんか。

青少年育成活動は一人でも多くの方々の理解と認識が不可欠です。

本推進会議の趣旨をご理解いただき更なるご支援ご指導をお願い申し上げます。



総務広報部会

部長 橋本 隆志

今年度、総務広報部会の部長を務めることになりました橋本です。総会の運営、青少年指導者研修会の開催を通して各種団体と連携を強めます。また、会報誌「道芝」や小・中学校向けにリーフレットを発行し、本会活動のPRに繋がります。社会情勢の変化により、育成会運営に諸問題が発生してきている話もあります。「親が変われば、子どもも変わる」運動のように、育成者の成長により組織基盤が万全になれるよう部員たちと力を合わせて盛り上げてまいります。ご支援よろしくお願いします。



青少年社会参加部会

部長 川野 遼 洋美

青少年社会参加部会では、今年も小学生向け体験事業と中学生交流会を開催いたします。参加してくれる子どもたちだけではなく、準備から携わる私たち部員が楽しみながら出来るような「場」になればと思っています。子どもたちを取り巻く私たち大人が楽しくなければ、子どもたちは楽しめません。「場」を作るということを、学ぶ1年にしたいと思っています。また学んだことを各々が各地区に持ちかえり、実践出来たら大きな成果になると考えています。笑顔あふれる事業をめざしてがんばります！

地域・環境部会

部長 亀田 龍太郎

子どもと犬のブレット、皆さんも街中で見かけた事があるかと思いますが、「子どもの安全を守る家」の管理を私達の部会で行っております。現在も子どもが被害にあう事案がなかなか後を絶ちません。そんな中、少しでも子どもの安全に繋がればとの思いで、地区内のお店やご家庭の協力のもと運営しております。

また「家庭の日」の推進もしております。秋頃に「家庭の日」に関する作文や絵画ポスターを幼稚園生、小学生、中学生に書いていただき、展示や表彰を行っています。

もう一つ、有害図書を投げ込める「白ポスト」の管理や社会環境向上研修会の運営等、様々な活動を通じて、より住みやすい水戸の街になるよう活動しております。



# 育てよう! 豊かな心

## 目で見ると地区青少年育成会活動

将来を担う子どもたちの健全な成長を願い、住みよい環境づくりと安全な街づくりのために、地域の中でさまざまな活動を展開しています。

### 赤塚中学校区青少年育成会

毎年9月頃に三地区交流会を開催しています。三地区(河和田・上中妻・赤塚)の小学校6年生が集まり、スポーツ鬼ごっこ等を通して中学校入学に向けて交流を深めています。

### 石川地区青少年育成会

当地区では、かぼちゃまつりを始め地区内の様々な行事に、小学生や中学生が積極的にボランティアとして参加してくれています。それによって地域の人たちと子どもたちが繋がり、世代間のコミュニケーションも取れています。

▲かぼちゃまつり(ストラックアウト)

ボランティア清掃▶

## 「みんなで守ろう 地域の子 みんなで持とう 心にきらめき」

### ・地区の概要

一中地区は、新莊小・常磐小・柳河小の一部で構成されています。エリア的には、国道 50 号沿いの西原 2 丁目から大工町交差点周辺、国道 118 号の袴塚 2 丁目から末広 1 丁目と県道上水戸停車場千波公園線の周辺に上河内町と中河内町で構成される小・中、高等学校が点在している文教地区です。

学校と地域の各種団体が連携を取り、子どもたちが安心して安全に生活できる環境づくりを進めています。

### ・標語カレンダー

一中地区の小・中学生から「青少年育成のための標語」を募集し、心温まる標語が多数集まりました。その内容から子どもたちが地域の皆さんに見守られている様子が伝わりました。子どもたちの思いが溢れる作品を「標語カレンダー」として3年間作成し、小・中学校の各教室や市民センターに掲示しています。



### ・講演会

毎年主催行事として開催している講演会です。平成 30 年度は種子島と筑波の両宇宙センター所長を歴任された菊山紀彦先生（市内在住）をお招きして盛大に開催しました。

スペースシャトルや美しい宇宙の世界、国際宇宙ステーションの話がとても面白く、時間ぎりぎりまで質問が多数あり、子どもたちが宇宙について学ぶことができた、有意義な時間となりました。



### ・会報誌の発行

会報誌「きらめき」を年1回発行し、学校行事や地域のまつりなどの情報をお届けしています。

## 地域で守ろう子どもの安全

子どもたちの笑顔を守るには、家庭や学校だけではなく、地域の皆様の力が不可欠です。

「こどもの安全を守る家」とは、子どもたちの安全な登下校や放課後の生活ができるよう、市内の事業所や個人に登録いただき、子どもたちが危険を感じて避難してきたときの保護や体調不良などの一時避難の対応をお願いしているものです。目印として、子どもと犬のイラストのプレートを掲示しています。

子どもたちの安全を守るため、「こどもの安全を守る家」の設置や、子どもたちに危険を回避する方法を教えたり、あいさつ運動や防犯パトロールを継続して行うことにより、地域全体で子どもたちの安全を守っていききたいものです。



市統一マーク



県統一マーク

本推進会議では、地区青少年育成会が中心となって子どもの緊急避難所を設けています。

警察関係でも郵便局、コンビニエンスストア等を緊急避難所に指定しています。  
(上記が避難所のマークです。)

### 危険を回避する手段を学ぼう

6月に川崎市で起こった通り魔事件は、近くの店舗に避難できた児童がいる一方、2人の尊い命が失われてしまう恐ろしいものでした。

子どもの安全を守ることは、私たち大人の責任であると思います。蛍光ベストなどの反射材を装備し、パトロールにより防犯組織を更に強化していきたいところです。

子どもたちには、防犯ブザーやホイッスルの使い方、避難場所を知り、避難方法を学ぶことが強く望まれます。

地区全体で防犯意識を高めていきましょう。

### 地域の力で子どもの笑顔

「ただいま」「おかえりなさい」何気ない会話ですが、時として会話が途絶えてしまうことが起こってしまいます。

子どもの笑顔を守るには、親と先生だけでなく地域の力が必要です。子どもたちの安全を守るため、防犯パトロールやあいさつ運動を行い地域全体で子どもの安全を守りましょう。

# サブリーダーになろう!



## 水戸市サブリーダーズ会連絡会とは…

水戸市に在住又は市内の高等学校に通う高校生によって組織されるボランティア団体です。通称、サブ又はSLC(サブリーダーズクラブ)と呼ばれています。

水戸市教育委員会の支援のもと、休日や祝日、長期休業日などに行われている子ども会行事や、水戸市が主催する事業等の“補助指導者”として子ども達に対し必要な指導を行ったり、レクリエーションやキャンプ活動等を行っています。



## 新会員募集

「SLC新会員」を随時募集しています。入会希望する方は、入会承諾書(水戸市ホームページよりダウンロードできます。)をご記入の上、下記の問い合わせ先までご提出ください。(郵送可。FAX不可)水戸市に在住又は市内の高等学校に通う高校生なら誰でも入会できます。

年会費 / 350円

申込み・問合せ / 生涯学習課(029-306-8692)



## 活動内容

### 【SLC主催行事】

キャンプ研修、他高校生会との交歓会、救命講習会等

### 【子ども会主催行事】

新入生歓迎会、キャンプ、球技大会、クリスマス会等

### 【水戸市主催行事】

四季の体験学習、サマーキャンプ、星座のつどい等

### 【その他活動】

ちびっ子広場、水戸黄門まつり、たこあげまつり等



## 大人が変われば、子どもも変わる

茨城県青少年育成協会(旧青少年育成茨城県民会議)では、青少年の心を育てるキャンペーンとして、親や大人が改めて自らを振り返り、姿勢を正していくことを願い、「大人が変われば、子どもも変わる」運動を推進しています。

青少年が、心身ともにたくましい人間として育つためには、まず親・大人の自覚が大切です。とりわけ日常生活における親の子どもへの関わりが大きく影響します。

水戸市青少年育成推進会議では、この運動を育成活動の根幹としています。

## うちの子ども、うちの子ども



⑧に他なりません。

それでは、「もの」と青少年育成とが、どのように関連するのかと考えた時に、現代社会の中から、我々育成者が、博物館学芸員のように、多くの情報を集め、取捨選択し、その価値をいかに青少年(原石)に伝えることができるか。そして、育成者と青少年とが共に努力し成長していくことです。この事は、「親(大人)が変われば、子どもも変わる」運動に大きく関係してくると思います。

## 「もの」をして人に語らしめる

感動しその価値に納得する。それは何故か。つまり博物館学芸員は、資料の石ころ【もの】から価値を見出し、いかに多くの情報を引き出し伝えるか。そのために物が持つ情報を広く集め整理し研究し、展示して、本物【もの】として我々に伝えているから

力し成長していくことです。この事は、「親(大人)が変われば、子どもも変わる」運動に大きく関係してくると思います。

(岡崎 充芳 記)

# 令和元年度定期総会を開催しました

## 平成30年度決算・令和元年度予算

決算/収入総額 5,809,564円 支出総額 5,676,137円 差引残高 133,427円  
(次年度へ繰越)

予算/収入総額 5,620,000円 支出総額 5,620,000円

収入 (単位:円)

科目	平成30年度 決算	令和元年度 予算	内容
会費	3,340,450	3,386,000	推進会議本部会費、賛助会費
補助金	2,100,000	2,100,000	水戸市 水戸市社会福祉協議会
諸収入	11	573	預金利子
繰入金	180,000	0	
繰越金	189,103	133,427	前年度繰越金
合計	5,809,564	5,620,000	

支出 (単位:円)

科目	平成30年度 決算	令和元年度 予算	内容
事務局費	602,842	528,000	会議費、旅費、需用費、 役員費
総務広報部会費	1,675,260	1,560,000	青少年指導者研修会 会報誌「道芝」の発行(年2回) リーフレットの発行(年1回)
地域・環境部会費	499,438	544,000	「家庭の日」絵画・ポスターと作 文コンクール 社会環境向上研修会 「こどもの安全を守る家」プレ ートの作成 標語塔の補修
青少年社会参加部会費	217,013	280,000	少年の主張大会、中学生交流会、 青少年若者体験活動事業
地域育成活動費	1,380,000	1,380,000	地域活動づくりの支援 (16地区)
ふれあいを深める事業費	1,255,784	1,280,000	実施地区へ交付
負担金	15,800	17,000	水戸地区青少年育成市町民会 連誼総会負担金
積立金	30,000	30,000	記念事業費
予備費	0	1,000	
合計	5,676,137	5,620,000	



総会には総勢106名が参加しました。

5月11日、水戸市役所4階の  
中会議室において令和元年度定  
期総会を開催しました。これま  
で総会は笠原町にある水戸市総  
合教育研究所で行ってしました  
が、今年は新しくなった市役所  
での開催でした。総会の表示も  
看板でなく、スクリーンにプロ  
ジェクターで投影するなど、新  
しい試みもありました。  
多くの関係者にご出席をいた  
だき、役員改選を含め議事は滞  
りなく進行しました。  
総会後には永年活動され退任  
する方々へ感謝状が贈られまし  
た。退任者のごあいさつでは、  
これまでのご苦労などを伺い知  
ることが出来ました。永い間、  
ありがとうございました。

### 正副会長・部長

#### 監事・理事(敬称略)

会長 加倉井喜正

副会長 環 哲男・齋藤 直哉

本郷きぬ子・岡崎 充芳

総務広報部部長 橋本 隆志

吉川 幸江

石野奈緒美

地域・環境部部長 亀田龍太郎

生井沢康代

青少年社会参加部部長 川野邊洋美

榎 正憲

藤田 秀一

片岡 宗敏・村田 豊

監事 大久保純子

大録久美子・白田 茂司

田所 敏子・佐川 雄太

萩野 元弘・雨谷 精一

笹沼 重晴・杉本 憲子

中島 弘友・高野 秀樹

綿引 勝・和田 康則

山川 郁良・齊藤 佳昭

高安 常郎・佐藤 光雄

原 毅・鈴木 忠信

小坪 真司・大津 常行

岡崎 充芳・中村 英一

後藤 通子・木村 久文

立川 力・岡田 貴子

橋本 隆志・亀田龍太郎

川野邊洋美・鈴木 吉昭

増子 孝伸

### 編集後記

「インターネットの危険性」という研修会のあとで、参加者のグループワークがありました。たまたまそこでは高齢の参加者が大半でしたが、皆さん異口同音に「今の若い人は大変なのねえ」と言ったそうです。進行役だった私の友人は経験的に「でも私たちの時の方が大変だったのよ」といった反応を予想していたので「感動しちゃった」と言っていました。私自身、子育て時代が遠い昔になりつつあります。変化する時代に素直に眼を向けられるよう心掛けたいです。(H・A)

### 編集委員(○委員長)

吉川 幸江(常澄)  
本郷 きぬ子(育成者)  
石野 奈緒美(育成者)  
橋本 隆志(一)  
綿引 浩子(飯富)  
相羽 晴子(五)  
三村 達哉(石川)  
江沼 昌子(二)  
戸崎 昌子(二)  
芝間 紀子(千波)  
庄司 真樹子(三)  
綿引 弘美(緑岡)  
吉富 静(四)  
中村 美(中)  
中村 弘(中)  
薄井 典子(見川)  
桑名 光栄(双葉台)  
井川 健一(内原)